

平成 30 年度	産業文化部の取り組み実績
	<部の構成> 産業文化政策課、商工振興課、ひらかた賑わい課、農業振興課、文化振興課、生涯学習課

1. 重点施策・事業

(1) 観光施策の戦略的推進	
方向性	淀川舟運、天の川七夕伝説などの観光資源を生かしながら、市民が愛着を持ち、多くの人を訪れたいと思える魅力的なまちづくりを進めるため、平成 29 年度に策定した観光施策に関する考え方に基づき公民連携で役割分担をしながら、マーケティング手法を取り入れ観光施策を戦略的に進めます。
取り組み	<p>戦略的に観光施策を展開するため、民間事業者をはじめとした幅広い関係者との意見交換の場を設置します。また、観光に関する基本データの収集を行うとともに、観光資源の効果的な発信を行うため観光冊子の作成などを行います。</p> <p><<目標値>> 定期利用者数を除いた市内主要駅の乗降客数の増加：年間約 8 千人増</p> <p>平成 30 年度当初予算：9,400 千円</p>
実績	<p>5 月、9 月、11 月と 3 回にわたり、商工会議所・金融機関・鉄道事業者・文化観光協会など幅広い関係者と、今後の本市の観光施策のあり方について意見交換を行いました。また、市政モニター、市内集客施設での来訪者実態調査、市内宿泊者アンケートを実施し、本市観光に関する基本データの収集に努めるとともに、調査で得られた情報については、新たに作成した観光冊子「ひらいろ」（年 3 回制作・発行）の編集に反映しました。</p> <p>今後、収集したデータをふまえ、また関係者からいただいたご意見を参考に、さらに観光における魅力あるコンテンツの創出、情報発信の強化を進めます。</p> <p><<実績値>> 定期利用者数を除いた市内主要駅の乗降客数の増加：年間 2,127 人増</p> <p>平成 30 年度決算：7,421 千円</p>
取り組みに対する達成状況 【 ○ 】	

(2) 住工共生環境対策支援事業の実施	
方向性	「騒音等」を低減するための設備の導入等を行う主として製造業を営む中小企業者に対し、対象経費の 2 分の 1 の補助を行うことで、周辺住民との良好な関係を築き、企業が市内で継続して操業できるよう支援を行います。
取り組み	<p>市内企業へ、広く事業の周知を行い、企業の転出防止・定着が図られるよう、操業環境を維持するための支援を行います。</p> <p>平成 30 年度当初予算：5,000 千円</p>

実績	平成 30 年度実績としては、制度の要件である地域住民からの苦情申し立てを受けた事業者からの利用はありませんでした。今後も、事業所に制度の周知を行い、操業環境を維持するための支援を行います。	
	平成 30 年度決算：－	
取り組みに対する達成状況		【 ○ 】

(3) 商店街等活性化促進事業のリニューアル		
方向性	商店街等の活性化を図ることを目的とする商店街等活性化促進事業補助金について、商店街が新たな事業に取り組む際のスタートアップを支援するためメニューを変更・追加し、引き続き支援を行います。	
取り組み	既存の事業メニューについては、補助対象経費等の基準を精査し、新たに「商店街共同活性化事業」と「空き店舗活用事業」を事業メニューに追加します。 <<目標値>> 補助金交付件数 27 件	
	平成 30 年度当初予算：23,600 千円	
実績	年度当初に補助対象経費等の基準を精査し、新たな事業メニューを追加するなど補助金制度を改正しました。新制度については、市ホームページと広報紙で周知するほか、関係団体にも直接案内しました。また、空き店舗の活用について、他市商店街の事例収集を行うほか、現状把握や情報発信、セミナーに対するニーズなど、商店街等と意見交換を行いました。 今後、これらの調査や収集した意見に基づき、空き店舗解消に向けたセミナーの開催や商店街が新たな事業として取り組む「モデル事業案の作成」などに向け、引き続き商店街への支援を進めます。 なお、平成 30 年度の補助金交付決定件数は 37 件です。(別途 4 件申請取り下げ有)	
	平成 30 年度決算：13,617 千円	
取り組みに対する達成状況		【 ○ 】

(4) 地域資源を活かしたさらなる賑わいの創出	
方向性	「七夕伝説」など本市の地域資源のさらなる情報発信に向けた取り組みを進めます。また、本年 6 月から施行される住宅宿泊事業法に基づく民泊事業について、地域資源を生かした「体験型民泊」の展開を図ります。
取り組み	本市が「七夕伝説ゆかりのまち」であることを市内外に PR するため、地域の様々なイベントで「七夕物語」のスポット映像を活用するとともに、新たにプロモーション DVD を制作するなど、さらなる情報発信に向けた取り組みを進めます。 本市の「体験型民泊」のモデルケースとして、東部地域における自然環境や農業環境を活用した「体験型農家民泊」を、地域との連携のもと展開を図ります。また、モデル創出後には、これまで市民などの協力のもと取り組んできた海外からの学生を受け入れるホームステイのノウハウ活用、商店街の空店舗活用など、他分野における民泊の展開を検討します。
	平成 30 年度当初予算：5,455 千円

実績	<p>「七夕伝説ゆかりのまち」の発信については、7月7日開催予定の「ゆめのほしフェスタ」が台風の影響で中止となりましたが、「枚方オクトーバーフェスト 2018」開催期間中に、ミュージシャンの演奏とのコラボレーションにより「七夕物語」の映像を上映しました。また、「枚方・交野天の川ツーリズム推進協議会」において、枚方・交野における七夕関連のスポット紹介を盛り込んだパンフレットを作成した他、冬の七夕イベントを実施するなど、年間を通じて「七夕伝説ゆかりのまち」の発信に取り組みました。</p> <p>「体験型農家民泊」については、東部地域における事業展開の可能性や体験型観光のコンテンツ創出について、調査・研究するとともに、10月に民泊に関する市民説明会を開催しました。</p>
	平成 30 年度決算：521 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(5) 農業振興の取り組み	
方向性	<p>農業者の高齢化や担い手不足から、新規就農者の確保と共にシルバー世代を含めた担い手の確保を図ります。また、地産地消を進め、農業者の営農意欲向上のため、農業者と商工業者のマッチングを図ります。災害発生時において、市民等の安全及び復旧活動のために、防災協力農地制度の導入を図ります。</p>
取り組み	<p>農業に関心のある定年退職者・離職している若者等を対象に担い手の確保に向けた体験型農園の実施に取り組みます。また、市内で生産された農産物を活用する商工業者と農業者のマッチングの場を設定します。防災協力農地制度については、実施に向けて要綱策定の準備を進めます。</p>
実績	<p>農業に関心のある市民の方に体験型農園での野菜作りに親しんでもらい、新たな担い手の育成につなげる「ちょっと本気の野菜作り講座」を実施し、7人が受講しました。生涯学習市民センターにおいて、近くに在住する農業者が野菜販売を行い、地場産野菜の普及及び販売機会の拡大につなげる「フレッシュ野菜プチマルシェ」を、楠葉のセンターで朝市3回、牧野のセンターで夕市を3回行いました。</p> <p>市内で生産された農産物を活用する商工業者と農業者のマッチングの実績としては、「枚方産さつまいもたい焼き」の商品化及び販売がされました。また、枚方市農業振興協議会を軸に、枚方市農業委員会、北河内農業協同組合、大阪府と連携しながら、枚方の特産物創出について検討を行いました。今後、試験栽培に取り組んでいきます。</p> <p>防災協力農地制度については、他市の状況を収集、実施に向けた検討及び要綱策定の準備を進めました。</p>
平成 30 年度決算：200 千円	
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(6) (仮称) 枚方市総合文化芸術センターの整備	
方向性	まちの価値を高め、集客と賑わいを創出する文化芸術拠点施設として、(仮称)枚方市総合文化芸術センターの建設に着手し、平成33年の開館をめざします。 また、平成31年度より実施するプレ事業やオープニング事業の企画検討を進め、施設の開館に向けた機運を高めます。
取り組み	9月定例会月議会に工事着工のための名称や位置など基本事項を示した設置条例案を提出するとともに、同施設に必要な備品の調査・検討を行います。また、公募による指定管理者制度の導入やメセナひらかた会館のアネックス化など、開館に向けた運営面での課題整理を進め、文化芸術団体との連携や文化芸術アドバイザーを新たに設置するなど、プレ事業やオープニング事業の充実に向けた具体的な企画検討を進めていきます。 平成30年度当初予算：1,982,700千円
実績	9月定例会月議会に施設の名称や位置など基本事項を示した「枚方市総合文化芸術センター条例(案)」を提出し、可決されました。令和3年度(2021年度)の開館に向けて、必要となる備品のリストアップ、指定管理者制度の導入、メセナひらかた会館のアネックス化などの課題整理を進めました。 ソフト事業面では、平成30年6月に大阪フィルハーモニー交響楽団と連携協定を締結し、平成31年3月10日に連携記念演奏会を実施しました。 また、平成30年7月に新たに設置した4人の文化芸術アドバイザーと、プレ事業やオープニング事業の充実に向けた具体的な企画検討を進めました。 平成30年度決算：1,099,339千円(総合文化施設整備関係経費)
取り組みに対する達成状況 【 ○ 】	

(7) 生涯学習施設と図書館の複合施設の指定管理導入後の運営管理	
方向性	市民サービスの向上と効率的・効果的な運営をめざし、図書館との複合全6施設に指定管理者制度を導入しましたが、指定管理者が2事業者となったことから、事業者同士のノウハウの共有や切磋琢磨による相乗効果を施設運営に活かすため、市のマネジメントにより適正な管理運営を行います。
取り組み	効率的・効果的な取り組みについて施設間で共有化を図り、施設全体の展開につなげるため、月1回開催する所長会議や定期モニタリングのほか業務遂行確認を行うなど、各施設の運営状況や事業実施体制の確認に取り組みます。 平成30年度当初予算：362,504千円
実績	月1回開催する所長会議のほか、着手状況を把握するために年度初期の5月に業務遂行確認を行うなど、各施設の運営状況や事業実施体制の確認に取り組んだことにより、適正な管理運営を行うことができました。 平成30年度決算：362,504千円
取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】	

2. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
2. 来庁者・利用者用駐車場の有料化の実施	・対象施設附属駐車場について、受益者負担や駐車場管理の適正化の観点を踏まえ、有料化に向けた検討を進めます。
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・対象施設附属駐車場について、受益者負担や駐車場管理の適正化の観点を踏まえ、関係課との会議を開催し検討を行いました。 ・6つの生涯学習市民センター・図書館の駐車場の利用実態調査（9/1～11/30）を行いました。 ・有料化に関する関係課長会議（5/10・11/6） ・有料化検討ワーキング会議（5/29・6/28・7/27・8/31）
取り組みに対する達成状況	
【 △ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・外郭団体等経営評価員の指摘等を受け策定した「外郭団体等の経営状況等の点検・評価結果に係る対応方針」に沿った取り組みを行います。 ・特定非営利活動法人枚方文化観光協会については、経営健全化に向けて、平成28年度に策定した経営計画の進捗管理を行うとともに、本市の観光施策に関する考え方にに基づき、あり方について協議・検討を行います。 ・（仮称）総合文化芸術センターの指定管理者制度の導入に伴い、昨年度、公益財団法人枚方市文化国際財団において「今後の財団のあり方」について整理・確認し、同財団より協議の申し出を受けたことから、これに基づき、同財団の今後のあり方について取りまとめ、方向性を示していきます。
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・文化観光協会については外郭団体等の経営状況等の点検・評価結果に係る対応方針に基づき、補助金の見直しや枚方文化観光協会のあり方について、観光地域づくりの体制における中心的な役割を果たしていくことを確認しながら、協議・検討を進めてきました。 ・文化国際財団については平成30年5月の総務委員協議会で、文化国際財団を解散する方向性を報告しました。 財団の事業のうち、「文化芸術事業」については、アーティストバンクの設置など、財団の解散を見据えた事業を計画し、「国際交流事業」については、関係部長会議を開催し、国際化施策の在り方を検討する庁内委員会を設置することを確認しました。平成31年2月には、財団が「解散に向けた年次計画」を策定しました。 「くずはアートギャラリー事業」については、京阪ホールディングスと、財団解散後の事業継続の可否について協議中です。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
効果的な事務執行体制の確立	産業文化部内の各課の所管事務課題について、部内の流動的な事務応援体制で解決策を導き出し取り組みを進めます。
実績	部内各課の応援事務について、負担が一部の課などに偏らないよう体制を組みました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
部内会議におけるペーパーレス化の促進	産業文化部内会議におけるペーパーレス化を進めることにより、会議の紙資料作成に要する時間や印刷費用の削減、資料紛失等による情報漏洩のリスク低減など、会議運営に係る業務の効率化を図ります。
実績	部内事務連絡会議において、部長室のモニターを使用し、理事者会議等の報告をペーパーレスで行うなど、会議運営に係る業務の効率化を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆これまでの事業の実績を踏まえ、イベント等の内容や委託、補助金の見直しに取り組むとともに、国等の様々な補助金等の有効活用を行うなど、より効率的な予算編成・執行管理に努めます。

実績	これまでの事業の実績を踏まえ、イベント等の内容や委託、補助金の見直しに取り組むとともに、枚方市総合文化芸術センターの整備工事に国の都市再生整備計画事業の補助金を活用するなど、効率的な予算編成・執行管理に努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

4. 組織運営・人材育成

- ◆産業文化部の業務は、市民や関係団体、事業者等との連携が重要であることから、研修やOJTを通じ、コミュニケーション能力や専門性を高めていくとともに、部内のイベントをはじめスケジュールを共有し、業務の円滑な遂行に努めながら、計画的な有給休暇の取得などワークライフバランスの実現に向けた取り組みを促進します。

実績	研修やOJTを通じ、コミュニケーション能力や専門性を高めていくとともに、部内のイベントをはじめスケジュールを共有し、業務の円滑な遂行に努めながら、計画的な有給休暇の取得などワークライフバランスの実現に向けて取り組みました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆産業文化部各課の業務の関連性については、平成 29 年度に部内研修を行い共有化しています。今年度はより実践的な組織運営として、部内各課の取り組みを共有しながら部全体で連携し、より効果的な事務執行が行える体制作りと人材育成を行います。

実績	イベントスケジュールの共有や部内の連絡会議などで各課の取り組みを共有しながら部全体で連携し、より効果的な事務執行が行える体制作りと人材育成を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

5. 広報・情報発信

- ◆産業文化部で実施する様々な取り組みについて、広報ひらかたやホームページのほか、マスメディアや地域メディア、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなどを活用し、よりわかりやすく、効果的な情報発信に努めるとともに、各種団体等との意見交換会の場など、様々な機会を通じ、施策の周知に努めます。

実績	広報ひらかたやホームページのほか、マスメディアやSNSなどを活用しての効果的な情報発信に努めるとともに、各種団体等との意見交換会の場など、様々な機会を通じ、施策の周知を行いました。また、定住促進・魅力発信に関するホームページや動画の制作にあたっては、商業施設や民間事業者の協力を得ながら、部の施策及び市の魅力的な商業施設等に関する情報発信を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆情報発信において、明確な対象を意識した情報媒体の選択を行えるよう取り組みを進めます。

実績	若い世代に向けてツイッターやフェイスブックによる情報発信を行うなど、対象を意識し情報媒体を選択するよう取り組みました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	